

県東部防水事業協組が創立総会

初代理事長に平木氏



平木 茂男新理事長



総会を前に写真に納まる関係者
＝大崎町の「ワコーヒルズ」で

合代表理事の上別府社長に設立承諾を得て中央会での協議等これまでの経過を報告した。

議長に、有留健一社長(南アリドメ)を選出し、定款制定、共同受注や共同検査、教育および情報提供などの事業計画と収支予算、関係団体加入などを審議した結果、原案通り承認した。

平木新理事長は「少ない人数ですが、分離発注に設立承諾を得て中央会での協議等これまでの経過を報告した。」と抱負を述べた。

役員は次の通り。
理事長＝平木茂男▽副理事長＝有留健一▽専務理事＝神崎澄子▽監事＝皆元成美(南皆元建築)

清水小学校が現場体験学習

4社が現場説明会

川辺町立清水小学校の児童らがこのほど、県が進める地域高規格道路・南薩縦貫道(川辺道路)の現場で、校外体験学習を行った。

この日は、川辺道路の現場(道路改築4工区・川辺道路)を現在施工している(株)堀之内建設(今村次典社長)、(株)今給黎建設(今給黎政幸社長)、(株)松建設(松久保謙喜社長)、(株)森組(森千秋社長)の4社が同校の児童らを現場へ招いて、どのような目的で道路が出来るのかなどを知ってもらおうと、県加世田土木事務所との協力を得て実施した。



現場管理者の説明に聞き入る児童
＝川辺町の現場で

現場では、各現場管理者らが工事の概要について説明をしたほか、バックホーやパワーショベルなどの重機を使っての試乗体験なども行われ、子供たちも学校では体験できない学習を楽しんでいた。

4社を代表して堀之内建設の村岡隆博工事主任は「事業を推進するには地域との密なる交流が必要不可欠である」と話した。

川内労働基準監督署などが衛生週間説明会

労働衛生の現況紹介



健康講話に耳を傾ける参加者
＝出水市音楽ホールで

川内労働基準監督署(吉村省三署長)と県川内労働基準協会川内支部(今屋純一支部長)共催の全国労働衛生週間出水地区説明会が7日、出水市音楽ホールであり、管内の事業所・団体から担当者約200人が出席した。

吉村署長は「今年第57回を迎える当週間の目標は労働者の健康確保が大きな狙い。職場の労働衛生の課題は、二つある。一つは石綿等の業務疾病の防止。職場に有害作業や有害物質がないかどうかを点検し、あれば防止対策を講じ早急に改善していただきたい。二つ目は労働者の心と体の健康づくりである。各事業所でこれら二つを確実に実施していただきたい」と述べ、特に労働安全衛生法施行令および石綿障害予防規則が改正され、

18年9月1日からは石綿・石綿含有製品の製造等が全面禁止になったことについて説明した。

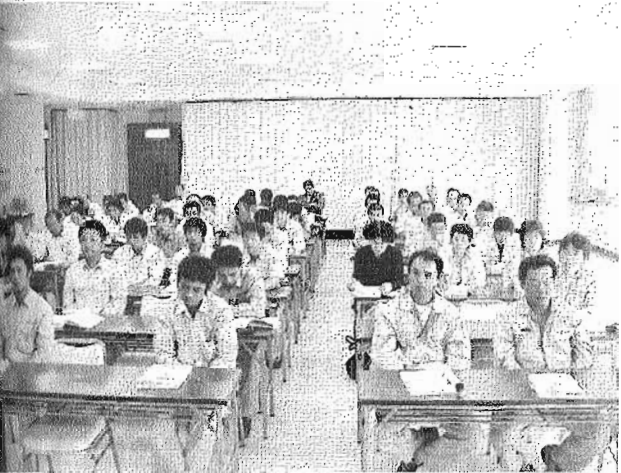
説明会では「労働衛生の現況」や鹿児島産業保健推進センターの委嘱相談員・田中勉歯科医「歯と口の健康と全身の健康」の健康講話があった。同週間は10月1日から7日まで。今年のスローガンは「疲れてませんか心とからだ、みんなでつくる健康職場」。

県土木部など建設技術者研修会

積算基準の改定学ぶ

県土木部・県建設業協会・県土木施工管理技士会共催の18年度建設技術者研修会が7日、霧島市の丸岡公園荘で開かれ、約80人が出席して県積算基準の改定などについて終日学んだ。

当日は、萩亮県栗野土木事務所長が「災害時など、日ごろから迅速な対応に感謝します。限られた予算の中、質の良いものが求められておりますので、本日の研修を有意義なものとしてほしい」と挨拶した。



熱心に受講する出席者
＝霧島市の丸岡公園荘で

県造園事業協組が奉仕活動

河川沿いを清掃



(35社)が参加し、和田川と永田川の川沿いで草払いやごみ拾いなどの作業に心地道い汗を流した。

活動は、地域社会貢献活動の一環として行われた。参加した組合員を前に、丸山理事長が「けがなどのないように十分注意して活動を行ってほしい」と挨拶した。

汗だくになりながら作業を進める組合員。鹿児島市の和田川沿いで

SPACE HOUSE が鹿児島に
スペースハウス

新登場

- ・簡単、スピーディーな作業
- ・安全性、快適性を重視
- ・コンセント、照明・換気扇付
- ・運搬時のコストダウン化

ハウス事業部

鹿児島支店
鹿児島市永吉町(アリーナ近く)
☎ (099) 250-5060
FAX (099) 285-5999

販売・リース 県下総代理店
中央仮設株式会社
☎ (099) 229-5900 FAX (099) 32-4156

購読料のお支払いが
お手軽で便利な
自動振替で

鹿児島建設新聞
099-227-5100へ